

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2012.3

vol. 71

## 米国心臓協会学術集会(AHA)に参加して

2011年11月12日から11月16日に開催された循環器領域における最高峰である第84回米国心臓協会学術集会（AHA）に参加してきました。開催場所となったのはフロリダ州オーランドのオレンジカウンティコンベンションセンターで、オーランド国際空港から車で20分程の便利な場所にありました。11月中旬のフロリダは日差しが強く、鹿児島よりも暖かく感じました。

今回の学会出張目的は演題発表ではなく、11月14日朝9時から12時10分までの「心不全：診断の洞察（Heart Failure: Diagnostic Insights）」というオーラルセッションのModerator（座長）とDiscussant（討論者）の役目をするのでした。Moderatorはセッションが滞りなく進む様に、会場からの質問がなければ臨機応変に質問したりコメントしたりしていく進行役です。また、私にはDiscussantとして、すべての演題が終了した後に10分間講演する役が与えられていましたが、Discussantというのは日本でもまだ馴染みがなく、学会に行く前には何をしてよいのかわかりませんでした。そこで、発表演題を読み込んで、これまでに明らかにされている事、背景、講演者が何を解明しようとしているのか、今後の展開はどうか、などの点について1つの演題について2-3枚のスライドを作り発表原稿を準備しました。自分の演題を発表する以上の準備をしたと自負しています。セッションが終了した後に会場で聴講されていた先生から「あなたの最後のまとめを聞いて各演題の事がより一層良く分かりました。」と声をかけていただいた時はそれまでの準備と労力が報われた感じがしました。今回、米国心臓協会学術集会に参加して、最先端の循環器医療を肌で感じる事ができました。また、日本人である自分がアメリカの学会の座長をして、まとめの講演までするという身に



2011.11.12 17:07



2011.11.14 10:22

余る経験をさせてもらうことができました。これに甘んじることなく、また次のオファーが来ても良い様に研鑽を積みたいと思います。

最後に、今回のAHA学術集会参加に関しましてご助言、ご指導いただきました関係者各位にこの紙面を借りて感謝申し上げます。

（文責 臨床研究部長 城ヶ崎 倫久）

## 中間管理者研修を開催して

平成24年2月3日から4日の2日間にわたり、平成23年度中間管理者研修を例年のごとく、国民宿舎レインボー桜島で開催しました。今年は7月から電子カルテを導入するため、「電子カルテは部門を超える」というテーマのもと、多くの職員の方々に参加を頂きまして、2日間充実した研修を行うことができました。



1日目は、午後7時より鮫島師長のオリエンテーションの後、「電子カルテ導入に向けて」と題して山下院長の講演がありました。次に松崎実行委員長、中村副看護師長より、電子カルテ導入に向けて、今自分達が取り組んでいくべき課題というものを明示していただきました。その後、午後8時より懇親会が催され、それぞれの職種を超えて、語り合う楽しい時間となりました。宿泊組は、マグマ温泉を楽しんだり、おいしいお酒を酌み交わしながら、夜が更けるまで楽しい時間を過ごしました。

2日目は二日酔いで辛い顔をされている方々もいらっしゃいましたが、午前8時30分に鮫島師長よりオリエンテーションが行われ、グループワークが開始となりました。今回は、誕生日でグループ分けを行いましたので、まずは日高副師長、大迫副師長がアイスブレイキングを実施しました。このアイスブレイキングとは、グループ内で自己紹介や当日呼んでほしい名前を決めて呼び合うことで、グループ内の雰囲気や和み、グループワークが円滑に進むことで、活発な意見交換が図れることを目的として実施しました。グループによっては、〇〇ちゃんなどネーミングをグループ内にアピールしている方もいました。その効果もあったせいか、和やかな雰囲気になり、部門を超えて、活発な意見が聞かれていました。午前9時から2回グループワークを実施し、その後、午後2時15分から発表が行われましたので、以下に沿ってその一部をご紹介します。



まずは深川教育担当師長の司会のもと、それぞれのテーマに沿って現状の問題点をKJ法で洗い出しを行い、その後、全体で意見の共有を行いました。テーマごとに自分達が問題点を明確にしたことで、病院全体で今後自分達が取り組んでいかなければいけない方向性が見えてきました。次に、その問題点を踏まえて、今後「電子カルテ導入に期待すること」「今、自分達が何をしないといけないか」ということを、再度、各グループで検討していき、塗木第2循環器科医長と看護学校山田先生の座長のもと、各グループごとにスライドにて発表を行いました。全体を通して、連携を図るための体制作り、業務のスリム化、コスト管理に対する意識改革、スペシャルクラークの育成など、各テーマごとに様々な意見が発表され、これから電子カルテ導入に向けて、中間管理者の自分達が何をしなければならないかが明確になったのではないかと思います。

最後に、山下院長、四元事務部長、中重看護部長が講評を述べられた後に、花田副院長、松崎実行委員長の挨拶で、午後4時に閉会となりました。お忙しい中、ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございました。鹿児島医療センター職員が、電子カルテ導入に向けて、職員一人一人が一意団結してやり遂げていこうという結束力が深まった研修になったのではないかと思います。

最後になりましたが、貴重な時間を割いて準備を行って頂きました中間管理者研修実行委員と事務部の皆様、また、司会や座長を務めていただきました方々に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(文責 電子カルテ導入準備室)



## 第2回 NST専門療法士教育研修 報告

第2回国立病院機構鹿児島医療センターNST専門療法士認定研修が、昨年度に引き続き、平成24年1月30日から2月10日の期間の水曜日を除く平日午後8日間(合計40時間)に渡り開催されました。当院は日本静脈経腸栄養学会認定のNST専門療法士実地修練研修施設であり、同指導責任者(認定医)であるリハビリテーション科医長の鶴川俊洋が今回も認定研修の責任者となり、栄養科スタッフの全面協力のもと開催いたしました。今回は鹿児島県内の3病院から薬剤師3名・看護師1名、院内から薬剤師1名・看護師1名の参加となりました。

研修プログラム(合計40時間)内訳は、NST回診参加・NSTカンファレンス出席・嚥下回診参加:8時間、講義受講:17時間、栄養評価実技(身体測定、嚥下造影検査):2時間、その他(情報収集、カンファレンス準備、レポート作成など):13時間となりました。講義(各1時間 17コマ)は医師・栄養士・薬剤師・看護師などの職種が主に講師となり実施されました。内容は、①研修オリエンテーション(NST認定栄養士)、②栄養スクリーニング方法(看護師)、③摂食嚥下療法(言語聴覚士)、④静脈・経腸栄養剤の種類と選択の問題点(NST認定薬剤師)、⑤栄養障害の抽出・評価(看護師)、⑦NST:脳血管内科の立場から(脳血管内科医師)、⑧褥瘡と看護管理(皮膚排泄ケア認定看護師)、⑨消化と吸収・PEGについて(消化器内科医師)、⑩栄養と代謝(糖尿病内分泌科医師)、⑪経腸栄養剤・栄養補助食品の種類と選択及び問題点(NST認定栄養士)、⑫集中治療の栄養管理(集中ケア認定看護師)、⑬NST:医事課の立場から(医事専門職)、⑭血液生化学的栄養評価指標(検査科)、⑮感染対策(感染管理認定看護師)、⑯NST:医師の立場から(リハ科医師)、⑰口腔ケア(脳卒中リハ認定看護師)、と非常に多彩で、かつそれぞれが昨年よりもさらにレベルアップした内容となりました。また嚥下回診・嚥下造影検査・検査室見学実習なども昨年よりも充実した内容でした。

症例報告は最終日までに受講生各々にNST回診対象症例1例をレポートとしてまとめて提出していただき、最終日に研修修了証明証を各々に授与し、全日程を終了いたしました。

2週間という長期プログラムでしたが、受講生は自病院の仕事との並行であったにもかかわらず、昨年の受講生と同様に一日も休むことなく参加され、有意義な研修であったようでした。自病院でのNST活動に実践につなげたい、専門療法士受験に向けて努力したいと前向きな発言が多く聞かれました。またプログラムを企画し、講義などを実践した当院スタッフも日ごろの知識の整理をすることができると同時にこの分野の奥深さを感じた2週間でした。ただし、2回目となり、企画者・プログラム責任者として多くの課題も見えた研修となりましたので、内容の検討を行いたいと思います。この研修は平成24年度も年1回は開催予定であり、またホームページ上でご案内いたしますので、ご参加のほどお待ちしております。



(文責 リハビリテーション科医長 鶴川 俊洋)

## 新任紹介



脳血管内科  
医

まつおか ひでき  
松岡 秀樹

2月から脳血管内科で勤務させて頂いております。

平成10年から平成19年の期間にも当院で勤務しておりましたが、その後国立循環器病センター、鹿児島大学病院勤務を経て、この度5年ぶりに復帰いたしました。脳血管障害、特に脳梗塞の急性期診断や治療などを専門としております。

脳血管障害が疑われる患者さんや、脳梗塞や脳血管に関する検査が必要な患者さんがおられましたらいつでもご紹介下さい。久しぶりの職場でややとまどいもあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、少しでも患者さんやかかりつけの先生方のお役に立てるように努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域緩和ケア講演会

患者の痛みの訴えと医療者の対応 ～緩和ケアとペインクリニックの現場で～

- 日 時：平成24年4月26日（木）18時00分～20時00分
- 場 所：大会議室
- 講 師：市立伊勢総合病院 麻酔科科長・緩和ケアチーム 松原 貴子先生

※ 定員80名となっておりますので、事前の参加申し込みをお願いします。  
申し込み多数の場合は、調整上、参加をお断りすることがございますので、御了承下さい。

お問い合わせ 緩和ケアチームチーフ 松崎 勉 (耳鼻咽喉科医長 matsu@kagomc2.hosp.go.jp) FAX 099-226-9246

4

月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

フィジカルアセスメント

- 日 時：平成24年4月27日（金）18時30分～19時30分
- 場 所：大会議室
- 講 師：集中ケア認定看護師 田代 祐子
- 対象者：医療関係者

※ 参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに教育担当看護師長までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

電話 099-223-1151 (内線 7264) FAX 099-226-9246

新人看護職員研修案内 楽しく学ぶ基礎看護技術講座

当院では、平成24年度看護研修に新人看護師さん向けの研修を企画しています。院外からの受講される方を募集しています。一緒に楽しく看護の基礎を学びましょう。参加費用は5回受講 2,000円 1回受講 500円です。

- 「フィジカルアセスメント」  
・日時：平成24年5月26日（土）13時00分～17時00分 ・講師：集中ケア認定看護師 田代 祐子
- 「救急対応・リアリティショック」  
・日時：平成24年7月28日（土）13時00分～17時00分 ・講師：救急看護認定看護師 伊藤 由加
- 「医療安全研修」  
・日時：平成24年9月29日（土）13時00分～17時00分 ・講師：医療安全管理係長 米森 篤子
- 「経管栄養・静脈注射」  
・日時：平成24年11月10日（土）13時00分～17時00分 ・講師：脳卒中リハビリ看護認定看護師 井手 智子
- 「人工呼吸器管理」  
・日時：平成25年1月26日（土）13時00分～17時00分 ・講師：臨床工学士 宮ノ下 誠

※ 参加を希望する方は研修内容をご覧になり、当院教育担当看護師長に電話で申し込んでください。尚、連絡先につきましては個人の場合は自宅、団体の場合は病院の住所をお知らせ下さい。後日決定通知書を送付致します。

お問い合わせ 教育担当看護師長 電話 099-223-1151 (内線 7264)

編集後記

今年も早いもので、もう3月の後半をむかえました。この原稿は3月21日に執筆していますが、ちょうど一年前の今日、東北への災害派遣に出発しました。鹿児島では桜が咲きだした中で旅立ち、新潟経由で雪深い会津を超えて現地に入り、まだまだ冬の中の現地で南北に長い日本の広さを実感しました。

春分の日昨日、札幌では春分としては最も気温の低かった、また関東でも12年ぶりに春一番が吹かなかったなど、今年の冬は長いとの報道がありました。しかし鹿児島では桜を始め数々の花が咲き始め、春の到来を感じることができます。

(担当:井上)

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246  
http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ 090(3327)5765

【地域医療連携室】濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井  
直通電話▶099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476  
※休日・時間外は当直者で対応します。

